

令和元年12月吉日

公益社団法人 京都府歯科衛生士会  
会 員 各 位

京都府宇治久世歯科医師会  
会 長 中村 雅彦  
在宅高齢者歯科  
委員長 土肥 和秀  
障がい者歯科  
委員長 竹村 眞理

平成元年度 京都府宇治久世歯科医師会  
「在宅高齢者・障がい者歯科合同研修会」開催のご案内

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、京都府宇治久世歯科医師会の事業に、格別のご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、当会では下記の通り「令和元年度 在宅高齢者・障がい者歯科合同研修会」を開催致しますので、ご案内申し上げます。ご関心をお持ちの会員様がおられましたら、ご聴講いただければ幸いです。

記

I. 日 時 令和2年 1月25日(土) 午後3時～5時

I. 場 所 宇治市保健消防センター（うじ安心館） 3F ホール

I. 演 題① 『歯科麻酔医による障がい者への対応』

講師 一般社団法人 京都府歯科医師会 京都歯科サービスセンター  
歯科麻酔部長 富田 智子先生

I. 演 題② 『社会福祉士からみた障害歯科と家族支援』

講師 関西福祉大学 児童教育学科 准教授 米倉 裕希子先生

※参加費は無料です。

----- TEL / FAX申し込み -----

お問い合わせ・お申し込みは、下記までお願い致します。《締切：1月8日（水）》

京都府宇治久世歯科医師会事務局 TEL / FAX：0774-23-3802

お名前	支部名	連絡先

## 【講演① 抄録】

### 演題 「歯科麻酔医による障がい者への対応」

一般社団法人 京都府歯科医師会 京都歯科サービスセンター  
歯科麻酔部長 富田 智子先生

歯科麻酔医として勉強するまでは、歯科麻酔と障害者歯科は関連のないものと思っていたが、障害者歯科に携わるにつれて歯科麻酔とは切っても切れない関係であると感じられた。障がい者が歯科治療を行うといっても一筋縄ではいかないことが多い。特に自閉スペクトラム症の患者であれば、一人ひとりの個性が異なりこだわりが強く、その個々を尊重して歯科治療を行わなければ治療を遂行することが難しい。さらに障がい者において、歯科治療以前に口腔内をコントロールするという事は非常に難しく容易にう蝕ができてしまう。そこで歯科治療を行うこととなるが、器具を挿入することすら不可能である障がい者が多い。

当京都歯科サービスセンターでは、治療を行えるようにまずトレーニングを行うが、それでも治療困難の場合、最後は全身麻酔や静脈内鎮静法といった薬物管理方法が選択される。当センターでは、いかに治療できるようになるか患者の個性を考えトレーニングを行い、治療が不可能である場合の薬物管理でもその個性を壊すことなく、また治療後もセンターに通院してきてくれるような管理を心がけている。

### 【講師プロフィール】

とみた さとこ  
富田 智子 先生

平成19年 日本歯科大学卒業  
平成20年 東京歯科大学大学院歯学研究科 歯科麻酔学専攻  
平成24年 東京大学医学部附属病院 特任臨床医  
平成25年 東京歯科大学歯科麻酔学講座 助教  
平成27年 McGill University (モントリオール CAN)  
平成30年 京都歯科サービスセンター 歯科麻酔科医

#### 取得資格

日本歯科麻酔学会専門医・認定医  
日本障害者歯科学会認定医

## 【講演② 抄録】

### 演題 「社会福祉士からみた障害歯科と家族支援」

関西福祉大学児童教育学科准教授 米倉 裕希子先生

現在、障害歯科における家族支援の取り組みとして、歯科、看護、社会福祉、哲学、心理といった分野が協働する「親育ち教室」を月1回、心理カウンセラーによる週1回の心理相談を実施している。プログラムは、「講義」と「語り」で構成され、講義内容は「障害と生きづらさ」「行動への対応」「福祉サービス」などである。後半は前半の話を踏まえながらも、自由に語る。並行して、心理カウンセラーの後方支援として、社会福祉に関する助言等を行っている。

これまで、障害児の家族支援を専門に研究し、地域の障害者相談支援センターで社会福祉士として相談を行ってきたが、なぜ障害歯科でプログラムを行うのか、福祉相談が必要なのか当初は不思議に思っていた。しかし、障害歯科の現場に通うようになり、患者のそばに寄り添う保護者の光景を見てその必然性を理解するようになった。そして、プログラムでの語りでは「家族」とは何かという答えのない永遠のテーマに保護者、専門家といった枠を超え向きあっている。これまでの研究を踏まえた上で、「親育ち教室」の実践を紹介するとともに、福祉相談の事例から障害歯科における福祉的支援の広がりについて考えたい。

#### 【講師プロフィール】

よねくら ゆきこ  
米倉 裕希子 先生

平成12年 大阪教育大学 卒業

平成14年 大阪府立大学大学院 社会福祉学研究科 博士前期課程 修了

平成19年 大阪府立大学大学院 社会福祉学研究科 博士後期課程 修了

博士（社会福祉学）

平成22年 関西福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師

平成26年 関西福祉大学 教育学部 児童教育学科 准教授

社会福祉士

研究テーマは障害のある子どもの家族支援及びスティグマ、スティグマティゼーションに関する研究